

カラスの 被害を防止 するために



生態

生態

- ・寿命は概ね10年。雑食性で、生ゴミも食べる。
- ・夜は集団ねぐらで過ごす。ねぐらに帰る前に、一度集団ねぐら付近に集まってからまとまって帰る習性がある。
- ・朝早くねぐらを出て、日が暮れるまで外でエサを探す。
- ・行動範囲はねぐらから半径10Km程度。

繁殖

- ・3月ごろからヒナを育てるためのねぐらをなわばり内につくる。そこで3～5個産卵する。孵化率は約90%
- ・抱卵・育雛期の4～6月は巣に近づく人を襲うことがある。
- ・巣は枝の付け根から枝の中程に載せるように作る。特に葉がよく茂った枝が巣を覆うような所を好む。

被害対策

1 エサを与えない

- ・ごみ出しのルールを守り、集積場所を適正に管理する。
- ・ペットのエサなどを屋外に放置しない。

2 ねぐらや繁殖場所を与えない

- ・巣の材料となる針金ハンガーを屋外に放置しない。
- ・安心して子育て出来る様な背の高い木や、葉の生い茂った木を放置しない。
- ・人慣れさせないようにする。音を出しながら追いかけまわす等の追払いを徹底的に行うことで人は怖いと学習させる。



3 襲ってくるので巣を撤去したい

巣の中にヒナがいたり、卵があったりする場合は許可が必要であるため、当室にご相談ください。ただし、巣のみの場合については撤去に許可は必要ありません。